

2 月 17 日（月）から 20 日（木）まで、本学が学術交流に関する協定を締結しているタイの 3 機関（タイ保健省疾病対策局、タマサート大学公衆衛生学部、マヒドン大学公衆衛生学部）から医師・保健師・大学院生等計 28 名を受け入れ、日本の産業保健活動をテーマとする国際交流研修を実施しました。日本の産業保健の歴史や制度に関する講義の他、学内の施設見学を実施しました。また、一般財団法人西日本産業衛生会、安川電機中間事業所も訪問し、実際の産業保健の現場を見学したことで、日本の産業保健への理解が一層深まる、有意義な研修となりました。この場を借りて、ご協力いただいた先生方、関係者の皆様に御礼申し上げます。



研修参加者らとの集合写真



講義の様子



無響室の見学



安川電機中間事業所の視察